

平成30年度

札幌市文教施策に関する要望書提出



去る、10月26日に札幌市教育委員会にて「平成30年度 札幌市文教施策に関する要望書」の手交式が行われました。

教育委員会からは、長岡教育長、大友教育次長、山根生涯学習部長、大場生涯学習推進課長、市P協からは、土田会長、本望副会長、相馬総務委員長、香西副委員長が出席しました。

今年度も10区の単位PTAから多くの要望

が集まり、内容について精査し、より重要なものに絞り込み、10項目の要望をあげました。いずれも、子どもたちの健全な成長と教育環境の充実を願う内容となっております。

長岡教育長からは、「少人数学級やスクールカウンセラー配置時間の増加など、子どもたちのために同じ方向を向いていることを強く感じられました。」というお言葉をいただきました。

要望書の回答につきましては、12月に「手交式」が行われる予定です。

札幌市教育委員会へ10の要望

1. 特別支援を含む教職員・加配教員の増加
2. スクールカウンセラーの配置時間の増加
3. 学びのサポーター・相談支援パートナーの派遣時間の増加
4. 小学校の地域開放図書館司書とは別に専任司書の配置
5. スキー授業などの交通費等に対する補助
6. 部活動顧問の負担減のためにも、外部の人材の派遣
7. 預かり保育の1時間単位の料金設定や月額の上限設定
8. 教育関連予算の維持・増額
9. 図書購入費の増額など読書活動推進事業に係る予算の維持・増額
10. PTA活動に関する助成の現状維持

PTA さっぽろ

第117号 2017.11.30

編集・発行 札幌市PTA協議会 広報委員会
http://www.sapporo-pta.gr.jp
shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
〒063-0051 札幌市西区宮の沢1-1-10
札幌市生涯学習総合センター3F
☎ 011-671-2371
印刷 樹トクイ印刷

QRコード

特集

周年行事の学校で歴史のある学校 2~3p

平成29年度 札幌市 PTA協議会研修セミナー

「みんなの学校が教えてくれたこと」

～学び合うことの大切さから 自分から学ぶ子の育て方～

平成29年度の市P協研修セミナーは、9月8日(金)札幌市中央区の共済ホールにて札幌市立の幼稚園及び小・中学校PTA会員を対象に行われ、約500人が参加しました。

講師の木村泰子氏は大阪市出身で武庫川学院女子短期大学教育学部保健体育科(現・武庫川女子大学短期大学部)を卒業。2006年からは、「みんながつくるみんなの学校」を合言葉に、子ども、保護者、地域住民、教職員一人ひとりがつくる大阪市立大空小学校の初代校長を9年間にわたり務められました。

2015年春、45年間の教職歴をもって退職された後、全国各地で講演活動を行っています。木村氏は、すべての子どもを多方面から見つめ、特別な支援を必要とする子どもも同じ教室で共に学び合い、育ちあう「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注がれました。

その取組を描き話題を呼んだドキュメンタリー映画『みんなの学校』の中には、ありのままの大空小学校の日常が映し出されており、子どもたちはもちろん教職員や地域の方々の1年間の成長を見ることができます。今回のセミナーでは映画『みんなの学校』を上映した後に木村氏の講演が行われ、より関心や理解が深まる内容構成でした。

講演では、大空小学校での体験談や今まで出会った子どもたちのことなどをお話しいただきました。時間が足りないほどたくさんエピソードの中でも、現代の子どもに必要な力や学校の在り方、周りの大人がすべきことを強く伝えていたように感じられました。

大空小学校では、障がい児・健常児の区別をせず毎日同じ教室で生活するため、一人ひとりが安心して過ごすことができ、その毎日が子どもたちにとって最高の学びの場であり、成長するチャンスなのです。しかし、先生や保護者は「教えてあげている」「○○してあげている」と思い、子どものことを分かったつもりで指示を出し、おさえつけています。子どもを変える前に大人が変わらなければ、自ら学ぶ子は育ちません。子どもは大人の背中を見て育つというように、周りの大人が自ら学ぶことで、子どもも学びが楽しくなります。また、様々な家庭事情や価値観を持った子どもたちが、多様化した国際社会でその子らしく生きてはたく力をつけるためには、学校そのものを多様化し、10年後社会に出た時に吸う空気をつくることも大切であるとのこと。

木村氏のお話を聞き、子どもに寄り添い一緒に学ぶ大人に変わることが大切だと感じました。100点を取れたらいい子で先生の話に黙って聞けないとダメな子、などという画一的な固定観念は捨てるべきだと考えました。個に応じた対応・支援を常に心掛け、先入観や偏見、他人の意見に惑わされずに、全ての子どもが安心できる居場所になるような学校づくりが大事であると感じました。

平成29年度 札幌市PTA

子どものこと 相談してみませんか??

子どもアシストセンターでは、子ども本人や保護者をはじめ、どなたからでも、子どもに関する相談を受け付けています。

「子どもが学校に行こうとしないので困っている…」「子どもがいじめや暴力を受けているようで心配…」と、子どものことで悩んでいませんか?そんな時は一人で悩まずに、アシストセンターに相談してください。子どものために何ができるか、一緒に考えていければと思っています。安心してご相談ください。

札幌市子どもの権利救済機関子どもアシストセンター

受付時間 ■月～金 10:00～20:00
■土 10:00～15:00 日曜日・祝日・年末年始はお休みです

電話で相談 ■大人用：011-211-3783
大人用がつかないときは 011-211-2946 (子どもの権利救済事務局へ)

■子ども専用(通話料無料電話) 0120-66-3783

メールで相談 assist@city.sapporo.jp
ホームページからも相談できます
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/assist/

会って相談 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階 ※駐車場はありません

■地下鉄東西線「大通駅」より徒歩5分
■地下鉄東豊線「大通駅」より徒歩3分
■地下鉄南北線「大通駅」より徒歩6分
■JR「札幌駅」より徒歩14分
■北海道中央バスターミナルより徒歩2分

QRコード

メール

ホームページ

地図

周年行事 の学校で 歴史のある学校

手稲区PTA連合会

- 1 札幌市立
手稲西小学校
- 2
- 3 開校80周年



南区PTA連合会

- 1 札幌市立
簾舞中学校
- 2
- 3 開校70周年



凡例	① 学校名	② 校章	④ 昔の校舎の写真
	③ 開校〇周年		⑥ 現在の校舎の写真
	⑤ その当時の写真		

北区PTA連合会

- 1 札幌市立
新琴似小学校
- 2
- 3 開校130周年



西区PTA連合会

- 1 札幌市立
八軒小学校
- 2
- 3 開校50周年



中央区PTA連合会

- 1 札幌市立
三角山小学校
- 2
- 3 開校40周年



東区PTA連合会

- 1 札幌市立
丘珠小学校
- 2
- 3 開校140周年



白石区PTA連合会

- 1 札幌市立
東白石小学校
- 2
- 3 開校50周年



厚別区PTA連合会

- 1 札幌市立
信濃中学校
- 2
- 3 開校70周年



清田区PTA連合会

- 1 札幌市立
清田中学校
- 2
- 3 開校70周年



豊平区PTA連合会

- 1 札幌市立
月寒中学校
- 2
- 3 開校70周年



第40回 広報紙まつり ご案内

今年度の広報紙まつりのご案内では、記事内容の中でも「PTA活動」の紹介を重視した審査基準となっております。また、今年度も「積極的な企画・アイデア」の取組も審査対象としております。

各園、各校の特色や地域性を活かした力作をお待ちしております。

作品の展示期間 平成30年2月19日(月)～23日(金)

作品の展示場所 ちえりあ1Fギャラリー

第9回 薬物乱用防止ポスター コンクール展示会のお知らせ

札幌市内の中学生から募集している「薬物乱用防止ポスターコンクール」の作品が、平成30年3月10日(土)・11日(日)の両日は地下歩行空間で、3月12日(月)～16日(金)の5日間は札幌円山動物園で展示されます。



小・中学生バスケットボールチーム
BASKETBALL ENTERTAINMENT GROUP

BEG

メンバー募集中!!

※小学4年生～

お試し期間2ヶ月OK!!

BASKETBALL & PERFORMANCE

305cm 7号

活動内容など詳しくはBEGホームページをご覧ください
<http://www.basketball-beg.com>

BEG BASKETBALL 検索

第65回 日本PTA全国研究大会
第49回 日本PTA東北ブロック研究大会

仙台大会

分科会／8月25日(金)
全体会／8月26日(土)

報告

つながろうPTA!子どもたちの輝く未来のために

～杜の都発!みちのくの今を伝えたい
感謝の思いと確かな歩みとともに～

杜の都・仙台に全国各地から7,300人が集まり、第65回日本PTA全国研究大会が行われました。

25日(金)は、仙台市内10か所の分科会会場に分かれ、基調講演や実践発表を基にパネリストによる活発な討議が行われました。

26日(土)は、カメイアリーナ仙台において、ウエイトリフティング選手三宅宏実氏の父娘による記念講演が行われました。その中で、子どもが何かをやると決めた時、親子、そして選手と監督としてそれぞれの関係

があり、どちらにも共通しているのが「絆」であり、「一人では何もできない。サポートが大切」というお話がありました。

両日とも熱い想いを伝え、PTA会員同士がつながりを深め合って、子どもたちを多くの目で見守ることを学び合い、とても実りの多い研究大会となりました。そして震災からの復興の姿を見ることができ、また、たくさんの感謝の気持ちが伝わってくる、素晴らしい大会でした。



第2日目 全体会記念講演／オリンピックへの挑戦
～家族の絆で掴んだ父娘メダル～

講師／ウエイトリフティング選手 三宅 宏実 氏
ウエイトリフティング協会会長 三宅 義行 氏

分科会	領 域	研 究 課 題
第1分科会	組 織 運 営	多くの仲間と活動できるPTA活動を求めて
第2分科会	家 庭 教 育	子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて
第3分科会	学 校 教 育	協働による学校教育活動の在り方を求めて
第4分科会	広 報 活 動	保護者や地域への更なる発信力を求めて
第5分科会	地 域 連 携	地域と共にあるPTA活動の在り方を求めて
第6分科会	人 権 教 育	互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて
第7分科会	環 境 教 育	子どもたちが健やかに育つ環境の在り方を求めて
第8分科会	健 康 安 全	子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて
特別第1分科会	日本PTA全国協議会担当	「いじめ」何が起きているかを知る
特別第2分科会	文部科学省協力	支援される側から支援する側へ さらに一歩踏み出した子どもたち

平成30年度

第66回 日本PTA全国研究大会

第50回 日本PTA関東ブロック研究大会

新潟大会 分科会／8月24日(金)
全体会／8月25日(土)

第64回 日本PTA
北海道ブロック研究大会

小樽大会

報告

未来へ つながろう ひとりひとりの心 海より大きな愛で育んでいこう

□ 10月7日(土)・8日(日) □ 小樽市民会館他市内各会場

20年ぶりの小樽大会は、全道から1,300名を超えるPTA会員が集まり交流を深めました。2日目の記念講演では、保護者がどのように子どもの成長段階に合わせた関わりをもてるか、などをお話ししていただきました。

北海道の歴史を通して「本当に大切にしなければならない思い」、家族愛・近隣愛・郷土愛などの人間愛を育んでいくことが大事だと感じました。

来年度の大会は、10月6日・7日に旭川で開催されます。

分科会	領 域	テ ー マ
第1分科会	組織・運営	防災に対する地域との連携
第2分科会	家庭教育	子どもと読書～本のある家庭教育
第3分科会	学校支援	子どもたちのために「PTA」が「学校」にできること
第4分科会	地域連携	子育てを支える地域のつながり
第5分科会	食 育	「いただきます」からはじまる食育
特別第1分科会	北海道中学生討論会	学生だからできること～わたしたちからの提言
特別第2分科会	情報モラル教育	知識を磨き、心を磨く情報モラル教育

第2日目 全体会

記念講演／『北海道の歴史から学ぶ
命の大切さと親子のつながり』

講師／トンボハイヤー株式会社取締役(非常勤)
小樽観光ガイドクラブ顧問
北海道千年の森プロジェクト副理事長
絵本・児童文学研究センター相談役

山川 隆 氏



第73回 指定都市
PTA情報交換会

大阪大会

報告

保護者は教育の当事者!

～子どもたちの未来へ!さらに深めよう保護者どうしのつながりを!～

□ 9月14日(木)・15日(金) □ ホテル大阪ベイタワー

変化する社会の中で、情報の氾濫や価値観の多様化等が、日々成長する子どもたちに大きな影響を与えており、子どもの発達段階における子育ての不安や心配は、どの保護者にもあると思います。子どもたちの心の安定と未来を切り拓く力の育成では、保護者が子育てに自信をもつことが大切です。保護者が教育の当事者意識をもち互いにつながるように、全国の政令指定都市のPTA役員および教育関係者による情報交換会が大阪で行われました。

分科会	領 域	分 科 会 テ ー マ
第1分科会	組織・運営	「みんなが参加できるPTA組織づくりと工夫」
第2分科会	研 修 活 動	「若手会員の育成をめざしたPTA活動と工夫」
第3分科会	地 域 連 携	「子ども育成に向けた地域と協働したPTA活動と工夫」
第4分科会	広 報 活 動	「広報紙・HP等を含めた広報活動と工夫」

第2日目 全体会

記念講演／『一瞬の感動を人生の
「きっかけ」に!』

講師／学校法人 金蘭会高等学校・中学校特任講師
株式会社 グローバルキャリア

代表取締役 的場 亮 氏



PTA共済会からのお知らせ

〔平成29年4月1日から10月31日までの傷害状況〕

◆ 学童の学校管理下外

共済金給付件数は、1767件でした。校種別発生率は、幼稚園1%、小学校88%、中学校11%になり、学校管理下外の生活の中で、一日におよそ8人のケガが発生している割合になります。また、ケガの原因となった行動では、「遊び」の場が674件と最も多くなっています。ケガの内容も様々ですが、特に骨折が924件と、ケガ全体の半数以上を占め、安全指導上、特に留意すべき事柄といえます。

◆ PTA活動中

共済金給付件数は、11件でした。保護者等のケガは、スポーツ活動中での重傷者が多く、長期間にわたって入院や通院となっています。

ケガは、ご本人はもとよりご家族の心配や不自由な生活が伴うものです。スポーツ大会等、体を使つPTA活動においては、十分な準備運動をするよう心がけましょう。

◆ 交通事故

車と歩行中の学童との事故が15件、車と自転車走行中が17件、乗車中が18件で、車が絡む交通事故は合計50件でした。特に、自転車と車との事故は、大きなケガに繋がるケースが多く、その中には重度の後遺障害が残るケースもあります。

また、交通事故には入っていない自転車単独での事故となると、191件にもなることから、自転車の使用に当たっては、整備状況、乗り方、交通法規など、保護者の皆様には日常的に指導していただき、子どもたちの身の安全を守ってきたいものです。

◆ 共済会の安全教育推進事業について

札幌市PTA共済会は、文部科学省所管の「PTA・青少年教育団体共済法」という法律に基づいて運営している組織です。

「一人はみんなのために みんなは一人のために」という相互扶助の精神のもとに共済金の給付事業を行う一方、事故が起きないように、予防・安全啓発ということから安全教育推進のための諸事業を行っています。

安全推進事業としての一つ目が、札幌市教職員交通安全推進協会の作品展標語部門で入賞した優秀作品の標語を掲載した交通安全旗を作成し、札幌市立幼稚園・小学校・中学校に配付しています。

二つ目は昨年度から行っている事業ですが、街頭での交通安全指導等で着用できる「ウィンドブレーカー」を、札幌市立幼稚園・小学校・中学校に、五・六枚ずつ寄贈しています。

■ 不明な点は

各学校のPTA事務局または、札幌市PTA共済会事務局
(0671・2372)へお気軽にお問い合わせください。